



戸田1年生、まちを行く!

第18回 ボート競技の聖地! 戸田ボートコース



「ボートのまち戸田」の名スポット、戸田ボートコース。ここは、私が戸田に引っ越して発見した、家族にはヒミツの「癒しスポット」である。ボート競技の聖地として親しまれる一方、コース沿いの遊歩道は散歩やジョギングコースにもぴったりで、開放感抜群。日々の疲れやストレスも、ここに来ると全て忘れて心穏やかになれる。そして何より、若きボート部の部員や選手たちが見事な上腕二頭筋を浮き上がらせながら美しいフォームで練習

する姿は、まさに「眼福」。家でたるんだ腹を出しながらゴロゴロしている旦那とは大違いだ。そんな私の密かな楽しみ場所だったが、戸田で育つ我が子にもぜひボートを身近に感じてもらいたい(いや細マッチョになってもらいたい)と思い、今日は家族でやってきた。前に進むものや後ろに進むもの、漕手が1人だったり4人だったり、さまざまな種類のボートやカヌーがひしめき合う中、我が物顔で優雅に進んでいたのは…!?

今月の注目スポットはここ!

戸田ボートコース



住所: 戸田市戸田公園5-27
電話番号: 442-2424
(戸田公園管理事務所)
アクセス: JR戸田公園駅
から徒歩15分、
tocoバス南西循環で7分
(「県営戸田公園」下車)

1940年に竣工し、1964年の東京オリンピックのボート競技会場にもなった、日本唯一の静水ボートコース。水面の両岸には大学や企業の艇庫が並び、学生から実業団のオリンピッククラスまで、選手達が練習する姿を間近で見ることができます。息の合った美しいフォームで水上を滑るように進む様子は圧巻! 市では毎年、親子で体験できるボート教室なども行っています。

利用者の声

戸田中ボート部出身です。ボートのまち戸田で育ったので、地元ならではのスポーツをやってみたくて始めました。ここは広くて練習しやすいです。

高校のボート部の練習で利用しています。ボートを始めたきっかけは、先輩の熱い勧誘。みんなで息を合わせて漕いでいる時がとても楽しいです。



イラストレーター
アイヨウコ

イラストレーター。小学生男子2児の母。家事に仕事に育児に毎日バタバタ過ごしています。ボートやカヌーに乗るのは憧れますが公園の貸しボートでも力尽きるのです。まずは体力をつけたいと…。

こちら、とだっ子情報局

とだっ子情報局では、戸田にまつわる情報をクイズ形式でお届けします。
今回は戸田で行われた聖火リレーについてのクイズです。

?



次のランナーへトーチで
聖火をつなぐことを、
「トーチ○○」といいます。
次のうちどれでしょう?



- ① トーチパス ② トーチトス ③ トーチキス



正解は③

福島からスタートし、つながれてきた東京2020オリンピックの聖火。戸田市でも、7月6日(火)に聖火リレーが通過し、蕨市からつながれた聖火を、4人のランナーがつなぎ、次の市へと受け渡しました。次のランナーへ聖火をつなぐ動作を「トーチキス」といいますが、無事に聖火が受け渡されたら、次のランナーにエールの意味を込めてポーズをとります。当日に向けて準備してきたランナーたちは、平和の祭典に向けて、それぞれの思いを込めて各区間を走りました。

